日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなろ

13年1月15日
第167号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154−0526
（部内資料）

憲法が花開く日本へ

昨年末の総選挙でいただいたあたたかいご支援に心から感謝を申し上げます。

南関東ブロックで2議席を勝ち取ることができなかったことは残念ですが、みなさんのご支援で神奈川、千葉、山梨の3県すべてで2010年の参院選比例票を上回る比例票を得ることができました。

暮しの問題でも、平和の問題でも、安倍・自公政権と国民との矛盾はいっそう深いものにならざるをえません。「財界中心」と「アメリカいいなり」という日本の政治の2つの歪みをただす立場をもつ党としての、かけがえのない役割をおおいに発揮し、夏の参議院選挙でかならず前進を勝ち取る決意です。

千葉県の党員、後援会員、ニュース読者、支持者、のみなさんのますますのご健勝を願って新年のごあいさつとします。

日本共産党
委員長・衆議院議員
志位 和夫

2つの歪みをただす日本共産党

参議院選挙でかならず前進を

明るい千葉を

千葉県知事選挙が2月28日告示3月17日投票で行われます。明るい会「憲法がいきる明るい千葉県をつくる会」から千葉大学名誉教授の三輪 定宣（みわ さだのぶ）さんが立候補します。①千葉から原発ゼロの発信を②地域から経済と雇用立て直す③競争教育転換し子どもが輝く千葉をと改革プランも発表しています。

三輪さんと作家の雨宮処凛（あまみやかりん）さんの対談などを掲載したパンフレットができました。お近くの後援会役員にお申し込み下さい。

2013年 迎春

原発から撤退 今こそ決断を

日本の将来考える年に

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

昨年末の総選挙のご支援、改めて感謝致します。今年も、3月の千葉県知事選挙、7月の参議院選挙が控えております。変わらぬご支援よろしくお願い致します。

安倍自公内閣が発足しました。「何故一度やめた安倍さんが、またどうして？」と不思議がる方もおりますが！。

これからも参議院選にむけて支配者に有利な？メディア報道が行われるのではないかと危惧します。

「ニュースあすなろ」を読んで頂いている皆さん、日本共産党の発行している「しんぶん赤旗」をお読みになり、日本の国の将来はどうあるべきかをご一緒に考える年にしようではありませんか。今年も重ねてよろしくお願い致します。

日本共産党
あすなろ後援会
会長 菊池 伍郎

千葉県のみなさん。新年のごあいさつを申し上げます。

総選挙では、きびしい寒さの中、熱いご支援をいただき、心からお礼申し上げます。

今年はいよいよ参議院選挙です。「消費税増税実施を強行させるのか、それとも実施を中止させるのか」「原発再稼働を許すのか、それともこのまま廃炉に向かうのか」「憲法九条を変えて戦争する国にするのか、憲法が花開く日本をつくるのか」21世紀の日本の針路を問う選挙です。

私は比例代表予定候補として、2004年の選挙に続いて、今回も南関東3県（千葉、神奈川、山梨）と東京が活動地域となります。参院選では千葉選挙区での勝利とともに、5名の比例候補全員当選のため全力をあげます。選挙勝利に向けて、日本共産党を強く大きくすることにも、お力をおかしくださいご支援のほど、よろしくお願いいたします。

日本共産党
政策委員長
小池 晃

こんにちは 植田和子です

2013年1月1日

みなさん、明けましておめでとうございます。

2013年の幕開けです。昨年も、言葉では、言い尽くせないほど、大変お世話になりました。

市議になって、もうすぐ2年が経ちます。相変わらず、危なっかしい植田和子を、どんな時でもずっと変わらず、いつも支えてくれる、そばで温かく見守っていてくれるみなさんに、本当に本当に感謝しています。

いつもいつも、本当にありがとうございます。

今年は、市議として3年目に突入です。少しも慣れませんので、今年も昨年同様、お世話になります。

私は、今年もたくさんメモをとりまくって、メモ魔の植田和子で頑張ります。

今年も、よろしくお願い致します。

12月議会 日本共産党

植田和子議会報告会

2013年 1月26日（土）
午後2：00〜4：00
江戸川台東自治会館ホール

今年度の予算。大規模事業に231億円が使われようとしています。巨大開発に対決して見直しを迫った議会の様子などお話しします。
お誘い合わせておいでください。

日本共産党 こぶし・あすなろ後援会

ヘッドライト

教師の体罰で若者が自殺。教育の場で教師に子どもが殺されるなどもってのほかの痛ましい事件だ。維新の会の橋下徹氏は「体罰はあり得る」と肯定し、批判を受けて反省の振りを見せたりしている。石原慎太郎氏は「体罰はいいんだ。身にしみるからね。」「いっても分からないならブッ叩くしかない」と若者の軍隊での訓練や戸塚ヨットスクールを奨励したりしていた▼その彼らが知事や市長としてやってきたことは、子どものしつけどころか大人をも力ずくで、恐怖によって従わせようとすることだった▼こうした暴力肯定や恐怖の支配は単なる激励や叱責、発奮のための手段だと思われがちだ。しかし暴力を振るわれた側には歪みと恨みなど様々な影を残すばかりか、振るう側にも大きな人間観の歪みを定着させる▼銃社会アメリカでは「自衛の権利」という理由で、人間不信の体系を合理化して各自が銃を保持して武装することを認め、集団銃撃殺人事件の悲劇を繰り返している。そこで培われた自己中心の思想はアメリカの世界戦略にも影を落とし、世界の多くの国が被害をこうむっていると思わざるを得ない。